

出題区分表、上級テキスト、論文式試験過去問の対応表

◎:第1問(最近は純理論問題)、★:第2問(最近は事例問題)

公認会計士・監査審査会の出題区分表		TAC上級テキスト(2022)	過去問															
			H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
1.公認会計士監査の基礎																		
(1)公認会計士監査の意義																		
	①財務報告制度における公認会計士監査の位置付け	4・5頁、14頁、279頁、283頁、286・287頁、299頁								◎								
	②コーポレート・ガバナンスに対する公認会計士監査の貢献	4・5頁、14頁、279頁、283頁、286・287頁、299頁								◎								
	③公認会計士監査の歴史	4頁、11頁、(312頁)、313頁																
(2)公認会計士監査をめぐる基礎的理論 具体的には、期待ギャップ、監査の必要性、監査の固有の限界、合理的な保証、監査意見の枠組み(表明形式)、二重責任の原則、監査の機能(指導＆批判、保証＆情報提供)		10頁、14頁、16頁、18・19頁、20～23頁		★	◎・★		◎	◎				★		◎	◎		◎	
(3)監査人としての要件と職業倫理		24～31頁、304～306頁		★			◎		◎								◎	
5 監査基準																		
(1)監査基準の意義																		
	①監査基準生成の歴史の経緯	11頁、18頁・19頁、30頁、72頁・73頁、89頁、159頁、190頁、208頁、313頁																
	②監査基準の意義と役割	8・9頁、12・13頁																
(2)監査の目的																		
	①一般目的の財務諸表の監査の目的	15～18頁、127頁								★								
	②重要な虚偽の表示に対する監査上の対応	15頁、35頁、68頁、72～74頁、97頁、165頁																
	③特別目的の財務諸表の監査の目的	19頁、129頁、272・273頁										◎						
(3)一般基準																		
	①専門的能力の向上と知識の蓄積	25頁								◎								
	②公正不偏の態度と独立性の保持	26・27頁、189頁、301・302頁、306頁		★				◎									◎	
	③正当な注意と職業的懐疑心	28・29頁、170・171頁	★				◎		★									
	④不正等に起因する虚偽の表示への対応	162～165頁																
	⑤監査調書の意義と役割	104～107頁																
	⑥監査業務全般に係る監査事務所としての品質管理	196・197頁		◎・★														
	⑦個々の監査業務に係る品質管理	196・197頁		◎・★														
	⑧守秘義務	30頁、193頁、306頁															◎	
(4)実施基準																		
	①基本原則(監査手法、リスク・アプローチ、監査上の重要性)	34～36頁、68頁～74頁、94・95頁		◎		★	★				★	◎		◎・★				
	②監査計画の策定及び修正	98～100頁	◎		★						★		★	★				
③監査の実施																		
	(ア)監査要点	37～39頁					★			★		★	★		★	★		
	(イ)具体的な監査手続の種類	40～42頁、46～51頁					★		◎・★	★		★	★	★		★	◎・★	
	(ウ)十分かつ適切な監査証拠と証明力	43～45頁					★				◎	◎			◎			
	(エ)内部統制と財務諸表監査との関係	57～61頁						★										
	(オ)試査とサンプリング	62～67頁													◎			
	(カ)リスク評価、リスク評価の修正と監査計画の見直し	75～80頁、86頁、100頁	★	◎	★		★			★		◎			★	★	◎	
	(キ)監査チーム内の討議	76頁														★		
	(ク)評価したリスクへの対応	81～86頁	★		★		★						★	★	★	★	◎	
	(ケ)不正等に起因する虚偽表示への対応	162～171頁							★					★	★			
	(コ)特別な検討を必要とするリスクと当該リスクへの対応	87～89頁		◎	★										★	★		
	(サ)会計上の見積りの監査	90～92頁	◎						◎		★				★	★	◎	
	(シ)関連当事者の監査	93頁																
	(ス)ITへの対応	102・103頁																
	(セ)法令の遵守状況の検討	172～174頁、284頁																
	(ソ)継続企業の前提に関する検討	175～181頁					★								◎			
	(タ)その他の記載内容の通読及び検討	217・218頁																
	(チ)監査手続の結果、識別した虚偽表示の集計・評価	96・97頁									★			★				
	(ツ)経営者確認書	118～122頁		★														
	(テ)監査の最終段階及び審査	123頁、207・208頁																
④他の監査人等の利用														◎				
	・他の監査人等の利用・グループ監査	108頁～113頁												◎			★	
	・専門家の業務の利用	114・115頁												◎				
	・内部監査人の作業の利用	116・117頁												◎				
(5)報告基準																		
	①基本原則	126～128頁、130頁	◎							◎	◎							
	②監査報告書の記載区分	134～136頁、159頁								◎		★					◎	
	③無限定適正意見の記載事項	137～143頁			★					◎	◎							
	④意見に関する除外	144～147頁、150・151頁、152頁			★					★	◎							
	⑤監査範囲の制約	144～147頁、148・149頁、152頁		★	★						◎	★						
	⑥継続企業の前提	182～187頁			◎	★									◎			
	⑦監査上の主要な検討事項	190～195頁	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		◎	
	⑧追記情報	153～158頁			◎										◎			
	※その他の記載内容に関する報告	219・220頁	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	⑨特別目的の財務諸表に対する監査の場合の追記情報	272～274頁																
(6)その他																		
	①経営者とのディスカッション(討議)	101頁			★													
	②監査役等とのコミュニケーション	101頁、188・189頁			★									◎	★	★		
	③比較情報への対応	214・215頁																
	④後発事象への対応	212・213頁、298頁			◎					★		★						
6.監査における不正リスク対応基準																		
	(1)不正リスク対応基準の意義	170・171頁																
	(2)職業的懐疑心の強調	170・171頁																
	(3)不正リスクに対応した監査の実施	170・171頁													★			
	(4)不正リスクに対応した監査事務所の品質管理	170・171頁																
8.四半期レビュー基準																		
	(1)四半期レビューの意義	222・223頁			★													
	(2)実施基準	224～229頁				★												
	(3)報告基準	230～239頁				★					◎							
9.財務報告に係る内部統制監査の基準																		
	(1)内部統制監査の意義	243・244頁、246頁、248～251頁、266・267頁						★							◎			
	(2)内部統制の基本的枠組み	52～56頁						★										
	(3)内部統制監査と財務諸表監査との関係	245頁						★										
	(4)内部統制監査の実施	252～254頁						★										
	(5)内部統制監査の報告	255～265頁						★							★			
10.監査に関する品質管理基準																		
	(1)品質管理の意義	196～198頁、311頁																
	(2)品質管理システムの整備及び運用	198頁																
	(3)品質管理システムの構成	199頁																
	(4)品質管理に関する責任	200頁																
	(5)職業倫理及び独立性	201頁																
	(6)監査契約の新規の締結と更新	202・203頁																
	(7)監査実施者の採用、教育・訓練、評価及び選任	204頁																
	(8)業務の実施	205～208頁																
	(9)品質管理のシステムの監視	209頁																
	(10)監査事務所間の引継	210・211頁																
	(11)共同監査	210頁																